



ソフトウェアのアップグレード

- [ソフトウェアアップグレードプロセスの前提条件](#) (1 ページ)
- [コントローラソフトウェアのアップグレード \(CLI\)](#) (2 ページ)
- [コントローラソフトウェアのアップグレード \(GUI\)](#) (4 ページ)
- [コントローラのリブート](#) (6 ページ)

ソフトウェアアップグレードプロセスの前提条件

この項では、VM 上の既存のコントローラのインストールの場合の Cisco IOS XE ソフトウェアのアップグレード方法について説明します。



- (注)
- この手順では、同じ VM 上での新しいソフトウェアバージョンのコントローラへのアップグレードの詳細を示します。
 - アップグレードプロセスを高速化するには、Web UI 方式を使用することをお勧めします。

コントローラのソフトウェアイメージの Cisco IOS XE バージョンをアップグレードする前に、次の前提条件が満たされていることを確認します。

- 使用しているハイパーバイザベンダーおよびバージョンとの互換性現在のバージョンのコントローラでサポートされていない新しいハイパーバイザバージョンにアップグレードする場合は、新しいハイパーバージョンにアップグレードする前にコントローラのバージョンをアップグレードする必要があります。
- コントローラ ソフトウェア イメージの VM のメモリ要件
 - 新しいコントローラバージョンには以前のバージョンよりも多いメモリが必要な場合は、アップグレードプロセスを開始する前に VM 上でメモリの割り当てを引き上げる必要があります。
 - ソフトウェアをアップグレードまたはダウングレードするには、**.bin** ファイルを使用する必要があります。初回インストールにのみ、**.iso** ファイルと **.ova** ファイルを使用します。

コントローラソフトウェアのアップグレード (CLI)

次の手順に従い、インストールモードで、あるリリースから別のリリースにアップグレードします。

始める前に

- **install remove inactive** コマンドを使用して、古いインストールファイルをクリーンアップします。
- CLIを使用してソフトウェアをアップグレードする場合は、インストールモードを使用することを推奨します。**show version** コマンドを使用してブートモードを検証します。
- ソフトウェアイメージのアップグレードを実行するには、**boot flash:packages.conf** を使用して IOS をブートする必要があります。
- **flash:packages.conf** からのみブートされるようにブートパラメータを設定していることを確認します。

ステップ 1 ソフトウェアのダウンロードページに移動します。 <https://software.cisco.com/download/home/286316412/type>

- a) IOS XE ソフトウェアのリンクをクリックします。
- b) インストールするリリース番号を選択します。

(注) デフォルトでは、推奨されるリリース番号が選択されます。リリース番号の指定については、次のリンクを参照してください。 <https://software.cisco.com/download/static/assets/i18n/reldesignation.html?context=sds>

- c) [download] をクリックします。

ステップ 2 **copy tftp:imageflash:** コマンドを実行して、新しいイメージをフラッシュにコピーします。

(注) TFTP を介して大きなファイルを転送するプロセスは、時間がかかります

```
Device# copy tftp://10.8.0.6//C9800-universalk9_wlc.xx.xx.xx.SPA.bin flash:

Destination filename [C9800-universalk9_wlc.xx.xx.xx.SPA.bin]?
Accessing tftp://10.8.0.6//C9800-universalk9_wlc.xx.xx.xx.SPA.bin...
Loading /C9800-universalk9_wlc.xx.xx.xx.SPA.bin from 10.8.0.6 (via GigabitEthernet0/0):
!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!
[OK - 601216545 bytes]

601216545 bytes copied in 50.649 secs (11870255 bytes/sec)
```

ステップ 3 次のコマンドを実行して、イメージがフラッシュに正常にコピーされていることを確認します。 **dir flash:**

```
Device# dir flash:*.bin
```

ステップ 4 **install add file bootflash:imageactivate commit** コマンドを実行して、ソフトウェアイメージをフラッシュにインストールします。

- (注) 複数手順によるソフトウェアのインストールも可能です。複数手順によるインストールを実行するには、[手順 5](#)に進みます。

```
Device# install add file bootflash:C9800-universalk9_wlc.xx.xx.xx.SPA.bin activate commit

install_add_activate_commit: START Thu Dec 6 15:43:57 UTC 2018
Dec 6 15:43:58.669 %INSTALL-5-INSTALL_START_INFO: R0/0: install_engine: Started install one-shot
bootflash:C9800-xx-universalk9.xx.xx.xx.SPA.bin
install_add_activate_commit: Adding PACKAGE

--- Starting initial file syncing ---
Info: Finished copying bootflash:C9800-xx-universalk9.xx.xx.xx.SPA.bin to the selected chassis
Finished initial file syncing

--- Starting Add ---
Performing Add on all members
  [1] Add package(s) on chassis 1
  [1] Finished Add on chassis 1
Checking status of Add on [1]
Add: Passed on [1]
Finished Add

Image added. Version: xx.xx.xx.216
install_add_activate_commit: Activating PACKAGE
Following packages shall be activated:
/bootflash/C9800-xx-rpboot.xx.xx.xx.SPA.pkg
/bootflash/C9800-xx-mono-universalk9.xx.xx.xx.SPA.pkg

This operation requires a reload of the system. Do you want to proceed? [y/n]y
--- Starting Activate ---
Performing Activate on all members
  [1] Activate package(s) on chassis 1
      --- Starting list of software package changes ---
      Old files list:
      Removed C9800-xx-mono-universalk9.BLD_Vxxxx_THROTTLE_LATEST_20181022_153332.SSA.pkg
      Removed C9800-xx-rpboot.BLD_Vxxxx_THROTTLE_LATEST_20181022_153332.SSA.pkg
      New files list:
      Added C9800-xx-mono-universalk9.xx.xx.xx.SPA.pkg
      Added C9800-xx-rpboot.xx.xx.xx.SPA.pkg
      Finished list of software package changes
  [1] Finished Activate on chassis 1
Checking status of Activate on [1]
Activate: Passed on [1]
Finished Activate

--- Starting Commit ---
Performing Commit on all members
  [1] Commit package(s) on chassis 1
  [1] Finished Commit on chassis 1
Checking status of Commit on [1]
Commit: Passed on [1]
Finished Commit

Install will reload the system now!
SUCCESS: install_add_activate_commit Thu Dec 6 15:49:21 UTC 2018
Dec 6 15:49:21.294 %INSTALL-5-INSTALL_COMPLETED_INFO: R0/0: install_engine: Completed install
one-shot PACKAGE bootflash:C9800-xx-universalk9.xx.xx.xx.SPA.bin
```

- (注) **install add file activate commit** コマンドを実行した後に、システムは自動的にリロードします。システムを手動でリロードする必要はありません。

ステップ5 (オプション) 複数手順によるソフトウェアのインストールも可能です。

(注) `flash:packages.conf`からのみブートされるようにブートパラメータを設定していることを確認します。

- a) **install add file** コマンドを使用して、コントローラソフトウェアのイメージをフラッシュに追加し、展開します。

```
Device# install add file bootflash:C9800-universalk9_wlc.xx.xx.xx.SPA.bin
```

- b) **ap image predownload** コマンドを使用して、AP イメージの事前ダウンロードを実行します。

```
Device# ap image predownload
```

- c) **show ap image** コマンドを使用して、AP の事前ダウンロードステータスを確認します。

```
Device# show ap image
```

- d) **install activate** コマンドを使用して、パッケージをアクティブ化します。

```
Device# install activate
```

- e) リロードが繰り返されても持続するように、**install commit** コマンドを使用してアクティブ化の変更をコミットします。

```
Device# install commit
```

ステップ6 次のコマンドを実行して、インストールを確認します。 **show version**

(注) 新しいイメージをブートするとブートローダは自動的に更新されますが、次にリロードされるまでは新しいブートローダバージョンは出力に表示されません。

ステップ7 システム内のアクティブなパッケージの概要を表示するには、次のコマンドを実行します。 **show install summary**

```
Device# show install summary
```

```
[ Chassis 1 2 ] Installed Package(s) Information:
State (St): I - Inactive, U - Activated & Uncommitted,
             C - Activated & Committed, D - Deactivated & Uncommitted
```

```
-----
Type  St  Filename/Version
-----
```

```
IMG   I   <v1>
IMG   C   <v2>
```

コントローラソフトウェアのアップグレード (GUI)

始める前に

[Remove Inactive Files] リンクを使用して、古いインストールファイルをクリーンアップします。



(注) [Software Maintenance Upgrade]、[AP Service Package]、および [AP Device Package] などの GUI オプションについては、それぞれの機能のセクションを参照してください。

ステップ 1 [Administration] > [Software Management] を選択します。

ステップ 2 [Upgrade Mode] ドロップダウンリストから、次のオプションを選択します。

- [INSTALL] : インストールモードでは、デバイスをブートするために *packages.conf* という名前のパッケージプロビジョニング ファイルを使用します。
- [BUNDLE] : バンドルモードでは、デバイスをブートするために、モノリシック Cisco IOS イメージが使用されます。パッケージがバンドルから抽出され、RAM にコピーされるため、バンドルモードはインストールモードよりも多くのメモリを消費します。

(注) [Destination] フィールドは、[BUNDLE] アップグレードモードでのみ表示されます。

ステップ 3 [Transport Type] ドロップダウンリストで転送タイプを選択し、[TFTP]、[SFTP]、[FTP]、[Device]、または [Desktop (HTTP)] としてデバイスにソフトウェアイメージを転送します。

- [Transport Type] で [TFTP] を選択した場合は、使用する TFTP サーバの **サーバ IP アドレス** を入力します。また、完全な **ファイルパス** も入力します。
コントローラでは、デフォルトでは IP TFTP の送信元が送信元ポートにマッピングされます。
- [Transport Type] で [SFTP] を選択した場合は、使用する SFTP サーバの **サーバ IP アドレス** を入力します。また、**SFTP のユーザ名**、**SFTP のパスワード**、および完全な **ファイルパス** も入力します。
- [Transport Type] で [FTP] を選択した場合は、使用する FTP サーバの **サーバ IP アドレス** を入力します。また、**FTP のユーザ名**、**FTP のパスワード**、および完全な **ファイルパス** も入力します。
- [Transport Type] で [Device] を選択した場合は、ドロップダウンリストから [File System] を選択します。[File Path] フィールドでデバイスから使用可能なイメージまたはパッケージを参照し、オプションのいずれかを選択して [Select] をクリックします。
- [Transport Type] で [Desktop (HTTPS)] を選択した場合は、ドロップダウンリストから [File System] を選択します。[Source File Path] フィールドで、[Select File] をクリックしてファイルを選択し、[Open] をクリックします。

ステップ 4 [Download & Install] をクリックします。

ステップ 5 新しいソフトウェア イメージでデバイスをブートするには、[Save Configuration & Reload] をクリックします。

コントローラのリポート

新しいシステムイメージをブートフラッシュメモリにコピーし、新しいシステムイメージをロードし、新しいイメージと設定のバックアップコピーを保存したら、**reload** コマンドを使用して VM をリポートします。



(注) アクティブなデバイスをリロードすると、スタック全体がリロードされます。

VM のリポートの詳細については、[VMware のドキュメント](#)を参照してください。

リポート後、コントローラ VM には、新たにインストールした Cisco IOS XE ソフトウェアバージョンとともに新しいシステムイメージを含める必要があります。



(注) 16.11 から以降のリリースにアップグレードした後、新しいログインページを表示できるようになります。

表示されていない場合は、次のいずれかを実行してログインページにリダイレクトします。

- GUI を更新します。
 - キャッシュをクリアします。
-